

企業誘致と企業用地整備について



竹中 芳弘 議員

国内企業の好調と国産ジェット旅客機MRJが初の飛行に成功するなど中部地域の製造業も好調です。東海環状西回りルート、大野神戸インターチェンジの開通も間近となり、交通のアクセスが便利となり地盤の強固さと良好な水質、自然環境の良さをアピールしてさらなる企業誘致への働きかけを行うと同時に、企業受け入れの用地が不足していると思うが。

町長

人口減少の歯止め、雇用の場の確保、税収の確保からも必要と考えている。過去に何箇所かの工業団地を建設し誘致してきた経緯がある。最近ではアピ(株)と(株)ユニゲンを誘致し、現在はさくら苑北の工業団地約8000㎡と草深地内約8000㎡さらに東幹線東で、1.5haから1.8haを農振除外して準備している。重要な事柄なので今後とも情報収集をしながら進めていく。

理事(地方創生担当)

地方創生戦略の中に企業誘致計画の立案というプロジェクトを設置し、金融機関と連携し、移転を考える企業のニーズ等調査していきたい。



「ハリヨ」生息地の中川

上八幡・中川のハリヨ生息地の環境整備について

現在生息地は、伊吹山の麓と海津市、大垣市と池田町のみです。

上八幡「ハリヨを守る会」は49年前に県の天然記念物に指定されたハリヨを29年間保護と調査をしています。堆積した「ヘドロ」が生息のネックになっています。県と連携をとり撤去を切に願っています。又木栈道は壊れて危険です。耐久性のある材料で風情あるものにしてほしい。又、水辺の清掃等に使っている木舟の損傷がひどいが、対応をお願いしたい。

町長

「ヘドロ」については堆積場所の確保が第一になっている。木栈道については、本年度測量し右岸と同じ鉄平石の石張り、来年実施を予定している。木舟については、避難用ボートなどで対処してほしい。

南部公園一帯の有効活用について

町長

雨水調整地として建設された公園内の「せせらぎ」には泥土が堆積して水の流れが見られない。東川からの導水、さらには水上からのポンプアップによって、水の流れをつくり水辺の憩いの場ができないか。これだけの広場がもつたない。北のテニスは利用者が少なく閑散としている。天候に左右されず、年間利用できる屋根付の施設にしてはどうか。有効に使いたいと思うがどうか。



南部公園・せせらぎ

市橋、溪南の方には大変な御理解をいただき、又浄化センターができた事も忘れてはならない。滞留させ、上流へ上るのを遅らせる目的があり、親水公園として補助金をもらっている。調整池としての役目が果せない、地域の理解が難しいが、杭瀬川改修が進むなかで水の状態を見て考えていきたい。テニスコートも調整池の役目があり、補助金問題もある。